日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

# 長泉麗峰山の会 (sine１９９４)

第２９期・０７巻　　２０２３年　　10 月号　　NO. 266

仲間と仲間を結ぶ機関誌

# すーほう

Susono Reihou Alpine Club

## 風の記憶

山行 NO. 2036
2023/09/23
金峰山・表参道

2023 年度・10 月度例会資料　　2023/10/08

１．報告・当面の予定

08/03（木）～05（土）個＝荒川三山～赤石岳　　北村、ほか 2・・・天気は良かった
05（土）個＝富士山・吉田口　　山田・・・ボッチ登山
04（金）～06 日（日）個＝八方尾根　後藤、加藤、合谷、星・・・花・人、凄い
12（土）個＝二ッ塚　　加藤、深沢、植松（外）・・・体力維持
13（日）個＝二ッ塚　　後藤・・・体力維持
19（土）会＝大谷ヶ丸・曲沢～西尾根　　後藤、加藤、山田敬、北村・・・厳しい山だった
26（土）会＝二ッ塚（お試しハイク）　後藤、伊藤、合谷、ほか 3 名・・・2 名入会
26（土）会＝大菩薩嶺　加藤、星、深沢、ほか 1 名
26（土）個＝地蔵岳（日帰り）　北村・・・朝、林道を熊が横断した。
31（木）～2（土）個＝剣岳　　加藤、星・・・スーパームーン見学
09/02（土）会＝上権現山　　後藤、伊藤、山田敬、北村、松永・・・ハイクリーダー養成
07（木）個＝富士山頂　　加藤・・・登山道清掃、ゴミ多い、Ｗもあった、山頂で實川会った
09（土）個＝霧ヶ峰　　伊藤、ほか 1 名・・・霧の中歩いた
09（土）個＝西丹沢　　後藤、加藤・・・2 回目のタマゴダケ、大量採取
13（水）個＝西丹沢　　加藤・星・・・タマゴダケ、なかった
14（木）個＝富士山・二ッ塚　　加藤・・・逍遥
16（土）会＝富士支部・四尾蓮湖～蛾ヶ岳　　加藤、星、深沢、植松（一般）、鈴木綾（元会員）
・・・蒸し暑かった
16（土）会＝八丁池～青スズ台　　後藤、伊藤、勝又、合谷、山田敬、山田由、松永
・・・蒸し暑かった・K と YY 問題なく完歩
16（土）～18（月）個＝岳沢～ジャンダルム～奥穂　　北村、ほか 1 名
23（土）会＝金峰山・表参道　　後藤、加藤、北村・・・なかなか厳しい上りだった
30（土）～10/01（日）個＝全国ハイキング集会・奈良　　加藤、星、深沢, 植松（外）、木村（外）

新入会員です。よろしくお願い致します。
2023/06/01　北村浩嗣・・・HP から、山岳スキー・アルパイン希望です。
07/01　長島康野・・・伊豆ウオーキングから、ハイキング以上。
08/01　加藤秀子、深沢澄江・・・ふじ山楽歩から
09/01　松永美代子、太田黒敦雄・・・HP から、お二人とも強いです。

事故報告　7/22　ナチュナルマウンテ　大井川西俣・北俣出合付近　５６/男
●沢を上流に向かって歩行中、足場にした抱えるほどの岩が動き、転倒し岩が左ふくらはぎに当たった。衝撃で 15ｃｍほど負傷。出血し傷が深かったので仲間に救助依頼した。
7/23　あさぎり山の会　本社ヶ丸・鉄塔下　７８/男
●本社ヶ丸から三ッ峠に下山中、約 80cm の小枝を右足で踏んだら、先端が跳ね上がり、左足ふくらはぎにズボンの上から当たり負傷。
7/16　浜松勤労者山岳会　南越百山・アズキ沢　52/男

●与田切川を遡行中、岩を上り切れず、バランスを崩し、1.5m 程から着地した際、左足首を痛めた。その後、予定コースを下山した。

２．寄贈会報とピックアップ

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　７月号　　NO.表記ナシ　　P8　　電子版
表紙＝富士山、山行予定＝蝶～常念、蓼科、鬼～雪頭ヶ岳、焼岳。
報告＝至仏山（新幹線で往復）、出羽三山、富士山頂。

「あさぎり」　あさぎり山の会　　９月号　　NO.359　　P54　　電子版
報告＝白馬三山と鑓温泉、羅漢寺山、鹿島槍、入笠山、水晶山・古札山、白根三山・・・高名な農鳥小屋オヤジは不在だった。三ノ沢岳・宝剣岳（日帰り）、鳥海山、瑞牆山（カンマンボロン・コース）、雲の平・高天ヶ原。登山計画、ほか。

「ハイキングだより」　みちぐさハイキングクラブ　９月号　NO.347　　P16
報告＝月例ハイク・蓼科山（日帰り）、小出発４時、七合着８：００と案外早い。秋田駒～鳥海山獅子ヶ鼻湿原、室堂～欅平～剣沢～裏剣、雨の谷川岳、ほか

「甲斐峰」　山梨山の会　　９月号　　NO,316　　P17　　電子版
座学「観天望気・３」、エッセイ「森暮し」、登山教室「櫛形山」、例会山行「仙丈ヶ岳」馬の背ヒュッテ・女将の歩荷酒、雀の学校「清泉寮一周」、記録＝塩見岳、北岳～吊り尾根、鹿島槍、富士山・大室山、飯豊連峰、大無間山。山行状況、山行予定、ほか。

表参道・片手廻し岩遠望（北村）

切り抜き帳

静岡新聞から転載

富士山 立山(富山) 白山(石川) 三霊山サミット

# 文化、学術分野 連携を

## 3知事 富山で意見交換

3知事の視察で披露された「おわら風の盆」の踊り＝1日、富山市内（静岡県提供）

「日本三霊山」がある静岡、富山、石川の3県が連携する「三霊山サミットin富山」がこのほど、富山市内で開かれ、3県の知事が出席した。地域振興や交流の拡大に向けて意見を交わし、文化・芸術分野の連携についても提案された。

同サミットは、富士山（静岡）、立山（富山）、白山（石川）の三霊山の歴史的、文化的価値を地域振興に役立てることを目的に、2023年1月に締結した三霊山連携協定に基づく取り組み。

会議で、川勝平太知事は「3県の文化・学術分野での連携を深めたい」と述べた。11月に静岡市内で開催する学術フォーラムをきっかけに、富士宮市の富士山世界遺産センターと富山県の立山博物館、石川県立歴史博物館による三霊山研究や情報発信の必要性を訴えた。石川県の馳浩知事は観光周遊促進のためのデジタルスタンプラリー、富山県の新田八朗知事は富山マラソンでのPRなどを提案した。

3知事は会議前、三霊山関連の観光商品造成を検討するために富山県内に視察に訪れていた本県旅行業協会の視察団とも面談した。会議後は富山市八尾地区の伝統行事「おわら風の盆」を鑑賞した。

石川県出身で三霊山協定の発案者とされる森喜朗元首相も出席予定だったが、体調不良のため欠席した。

9/5

時評

矢野　邦夫

マダニ原因アレルギー

# かまれたら肉食に注意

マダニにかまれることで、重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱などの重篤な感染症に罹患する可能性があることは、知っている人も多いかもしれない。しかし、マダニにかまれることによって、α－Gal（アルファ・ガル）症候群となる可能性があることについてはあまり知られていない。医療従事者であっても、知っている人は多くない疾患である。

実際、米国疾病管理予防センターが医療従事者における周知度を調査したところ、調査対象の医療者のうち、42％がα－Gal症候群について聞いたことがなかった。そして、35％が診断や治療について「あまり自信がない」と回答している。

α－Galはダニ類の唾液に含まれているオリゴ糖であり、マダニにかまれることによって、人間の体内に注入されてアレルギーになる。屋内に生息しているイエダニ、コナダニは原因とはならない。α－Galは4本足の哺乳類（非霊長類の哺乳類）の肉や、これらの哺乳類に由来する製品（ミルクなど）に含まれている。鳥類や魚類の肉には含まれていない。世界のさまざまな地域において、マダニにかまれることによってα－Gal症候群が引き起こされており、その患者数は増加している。実際、米国では毎年1万5000人ほどが罹患している。

症状は肉もしくは乳製品を食べてから2～6時間でじんましん、発疹、胃のむかつきなどが見られる。肉を食べてから症状がみられるまでに時間がかかるため、肉が原因と気付きにくい。これまで日常的に肉を食べていても平気だったのに、マダニにかまれてから、肉を食べて数時間後に胃のむかつきが現れ、それ以降、牛肉や豚肉を食べると気分が悪くなったならばα－Gal症候群が疑われる。肉を食べてから数時間後に呼吸困難となり、救急車で運ばれて一命をとりとめたという人もいるので注意が必要だ。

α－Gal症候群の症状と重症度は人によって異なり、現在利用できる治療法や治癒法はない。罹患するのは血液型がA型もしくはO型の人に多く、B型やAB型の人は罹患しにくい。これは、α－Galの分子構造がB型またはAB型の赤血球が持つB抗原の分子構造に似ていて、B抗原を保有する人は、α－Galに対してアレルギーになりにくいからと推測されている。

（浜松医療センター感染症管理特別顧問兼浜松市感染症対策調整監）

**やの・くにお**　1955年、名古屋市生まれ。名古屋大医学部卒。名古屋掖済会病院、名古屋大病院などを経て、米・フレッドハッチソンがん研究所に留学。93年から浜松医療センター勤務。感染症専門医・指導医。抗菌化学療法認定医・指導医。エイズ学会認定医・指導医。内科認定医。産業医。

等高線　NO.175

# 「回想、2000 回登山・6」

2023/09/25

　1971 年年末は、NO.149 で北岳に入った。初めての冬の北岳だった。72 年は、NO.150 で、八ッ・阿弥陀岳北西稜だったが、二人でラッセルが厳しく敗退した。
　03 月 19～20、富士山で未曽有の山岳遭難事故があった。・・・富士山大量遭難事故とは、

1972 年 3 月 19 日夜半から 3 月 20 日にかけて低気圧の襲来によって発生した悪天候に見舞われ、富士山御殿場ルートを下山中の登山者が低体温症や雪崩により 18 人死亡、6 人が行方不明となった事故である。八甲田雪中行軍遭難事件など軍隊の訓練を別とした日本の登山史上としては最悪の大惨事となった・・・ネット
３月１９日
連休を利用し、3 月 19 日には 7 つのグループと 4 人の単独行者合わせて 55 人が入山していた。このうち静岡頂山岳会の 9 名はヒマラヤ遠征の訓練として雪上訓練を行ったうえ、宝永噴火口の 200m 下でテントを張り野営を行っていた。
　一方、18 人で入山した清水勤労者山岳会は冬山の経験に富んだ 7 人が山頂に向かい、残る 11 人は五合目付近にテントを構え雪上訓練を行い就寝した。この日は午前中は快晴だったが、静岡頂山岳会が訓練を終えたころから天候が急変、霧が立ち込め強風も吹き始めた。全員が寝袋に入ったころにはみぞれに変わり、テント内や寝袋に水が浸み込む状況となった。

３月２０日
静岡頂山岳会は午前 3 時には 9 人全員が起き上がり、訓練の継続か中止を話し合ったが結局下山に決定。午前 7 時半に下山を開始したが、寒さと睡眠不足からくる不調から朝食を抜いたままの行動となり、下山を開始してから 20 分ほどで最初の 1 人が倒れたのを皮切りに次々と低体温症に陥って行動不能になった。最終的に 2 人だけが下山し救援を要請した。
五合目付近で野営していた清水勤労者山岳会の 11 人はみぞれ交じりの吹雪によりテントが埋まり除雪も間に合わなくなったため山小屋に避難したが、小屋にも雪が吹き込んだうえ燃料も残り少なくなったため、吹雪の弱まった頃合いを見て三島市の単独行の男性 1 人と合わせた 12 人で下山を開始した。
下山を開始してから 1 時間半ほどで 1 人が低体温症で倒れ、これを寝袋に収容して下山を継続したものの四合目付近に着いたころに 6 人が次々と衰弱して倒れ昏睡状態となった。残る 5 人のうち 2 人が濃霧の中ではぐれたため残る 3 人で下山を続けたが、二合五勺付近で仮眠中に今度は二度の雪崩に襲われて埋まり、脱出できた 1 人だけが御殿場署にたどり着き救援を求めた。

３月２１日
救助要請を受けた静岡県警、静岡山岳会が救助隊を準備、静岡頂山岳会、清水勤労者山岳会、御殿場消防署や市役所が加わり 150 人の救助隊が編成され、陸上自衛隊富士学校からもレンジャー部隊など 100 人が派遣され救助に加わった。
濃霧と目まぐるしく変わる天候に捜索は難航したが、同日の捜索により日産車体に勤務する登山パ

ーティのうち 2 名と豊川市の 3 人のパーティを救助、大阪からやってきた単独行の男性の遺体を収容した。
同じく入山していた東京おいらくの会、京都岳友会は山小屋に待機していたため全員無事に下山した。清水勤労者山岳会のうち山頂に向かった 7 人も二合五勺の山小屋から下山するところが確認され、19 日から 20 日にかけては八合目の山小屋に待機していたことが明らかになった。
最終的に多数の犠牲者を出した二つのグループのほかに日産車体に勤務する登山パーティ 4 人中 1 人が死亡、1 人が行方不明となったほか、平塚登高会の 1 人が行方不明、大阪の単独行の 1 人が死亡、横浜市の単独行の 1 人が行方不明、身元不明の単独行者 1 人の遺体が発見され、計 18 人の遺体が収容、残る 6 人が行方不明とされた。遺体が発見されなかった 6 人は雪崩により埋没したものと見られ、『日本の雪崩災害データベース』ではこの 6 人が雪崩埋没死亡者とされている。

この事故で、沼津北嶺登行会で一緒だった、裾野市・葛山の瀬戸敬三（たかみつ）君も犠牲になった。彼は、静岡頂山岳会に移籍後の事故だった。
また、三島勤労者山岳会創立準備会メンバーだった、田沼勝司君も犠牲になった。三島勤労者山岳会は、この翌年、杉澤康秀君（2014 没）らにより正式に発足し現在に至る。
私は、何故かその時は山行がなく、寮で原稿を書いていた。下界でも物凄い嵐だったが、まさか富士山でそのような事故が起きていることなぞ、知る由もなかった。

（つづく）

2021/02/12　富士山

写真報告　　2023/09/01　　剣岳（剣山荘往復）　加藤・星

山頂

| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真　北村 |
|---|---|
| 山行番. | 個人山行 |
| 日　時 | 2023 年 08 月 26 日（土）晴れ |
| 山　域 | 南アルプス・鳳凰山地蔵ヶ岳（2764m） |
| コース | 御座石鉱泉登山口(5:09)－ 燕頭山(7:09)－ 鳳凰小屋(8:18)－ 地蔵岳(9:09) －オベリスク(9:24)－ 赤抜沢ノ頭(10:09)－ 鳳凰小屋(11:30)－ 燕頭山(12:36) －御座石鉱泉登山口(13:56) －長泉(19:59) |
| 標高差 | 上り・下り　御座石鉱泉約 1070m～地蔵岳 2764m＝約 1694m＋85m（累計） |
| 難易度 | 非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい |
| 青空と白砂とオベリスク | |
| 参加者　北村(単独) | |

何度か仲間と縦走を計画したが悪天候等で行くことができなかった鳳凰山。天気の良い週末、地蔵岳をトレーニング兼ねた日帰り山行の候補にしていた。

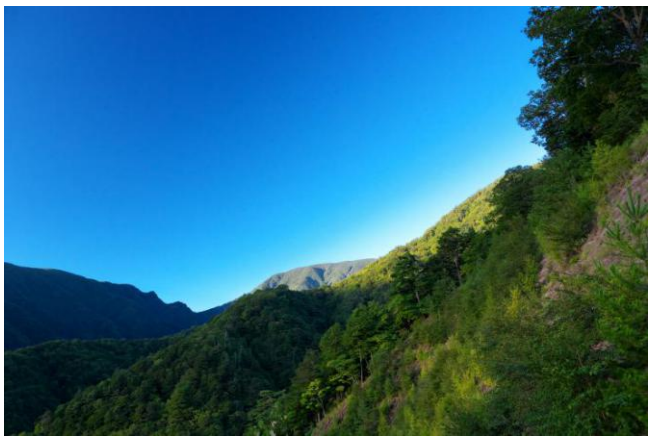
8 月 26 日(土) 地蔵岳山頂 11 時の天気予報

晴れ、風速 5m、見晴らし△、雲量 10%、終日雨マークは無く、午後から高確率となる雷を避ければ絶好の登山日和だった。早めに稜線から樹林帯に下りられるよう早朝スタートで地蔵岳の往復登山を計画した。

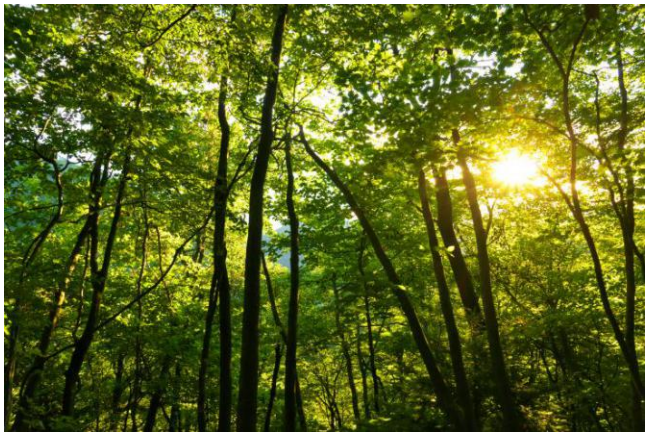
登山口がある御座石鉱泉は標高 1100 メールの人里離れた森。夜明け前、真っ暗な林道をマイカーで現地に向かった。そろそろ到着という時、道路を立派な熊が横断していった。

野生の熊に会うのは２度目。1 度目は、ガサガサと草むらから音がして、いきなり目の前に出てきたので恐怖だったが、今回は車の中なので冷静だった。登山中に会ってしまった時の対応を、頭の中でおさらいしながら AM 3 時 30 分に駐車場に到着した。

一時間ほど仮眠をして朝食を摂り、ヘッドライト不要の明るさになったところで登山を開始した。地蔵岳までは、標高差 約 1650mの長い道のりだが、高原の涼しさ、快晴の空、温かな木漏れ日、野鳥のさえずりで心地良くスタートした。この日は体調が良かったのか、キツイと感じる場所もなく終日元気に歩けた。



雲ひとつない空



木漏れ日

標高 2400mにある鳳凰小屋までは登山者が少なく、出会ったのは途中で先に通してもらった先行 3 組と下山してきた 1 組だけだった。

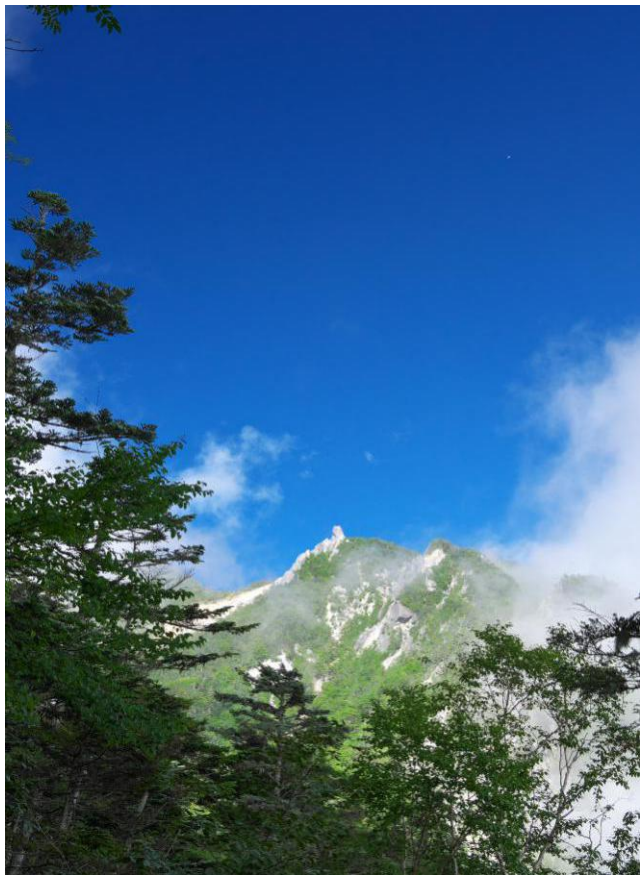
樹林帯は単調な歩きのイメージが強いが、ここは、標高を上げると見晴らしの良い場所が現れて景観が楽しめるコース。標高 1900m地点で広大な雲海が見えてきた。この日は雲で遠くの山が見えなかったが、富士山、北アルプス、八ヶ岳が見えたら最高だったろう。

後から写真を見て気づいたが、雲の中に微かに富士山が写っていた。どこかから種が飛んできたのか？ミヤコワスレの紫色の花が目を惹いた。2100mを過ぎると、本日のゴール地蔵岳が見えてきた。

標高 1900m　雲海

ミヤコワスレ

静かな森を快調に進む



標高 2100m　地蔵岳が見えてきた

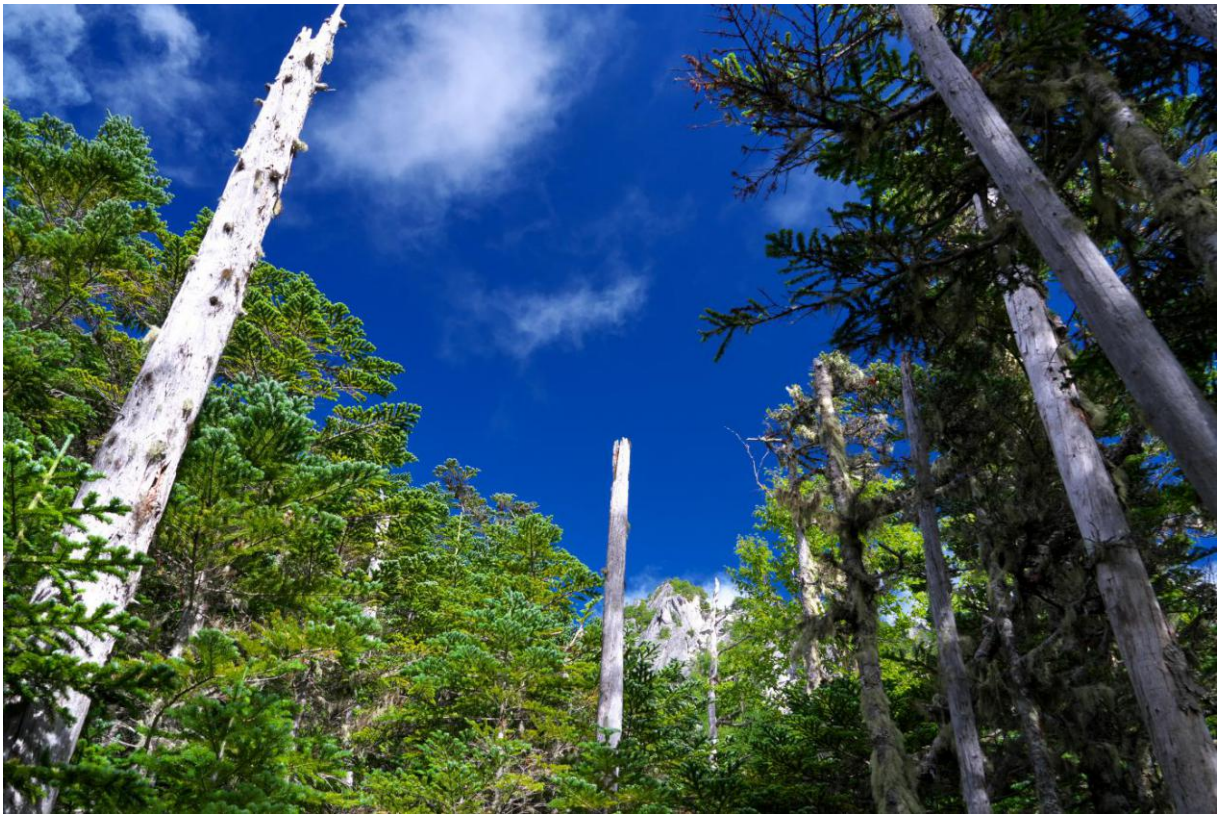
８時半前に鳳凰小屋に到着した。沢沿いに佇む山小屋は、まだ、たくさん花が咲いていた。ヤナギランは見たかった花、想像した通りの可愛い花だった。

小屋の前は、宿泊者や青木鉱泉ルートで来た人、小屋番さんがいて賑やかだった。少し休憩して花を散策して山頂に向けて出発。数十メートル歩いて振り返ると、小屋番さんが「いってらっしゃ～い」と笑顔で手を振ってくれた。気持ち良く山頂に向かった。

鳳凰小屋

ヤナギラン

木の間から岩峰の山が見えてくる。ハイテンションになってペースがあがる中、岩の影からガサゴソと大きめの音がした。耳を澄ますが音は止まない。草を引っ掻いているように聞こえた、熊か？？　遭遇を覚悟して心を落ち着かせて岩の上側まで出た。目に入ったのはガサガサと荷物を整理していた登山者だった。拍子抜けして思わず笑って挨拶をしたら、明るい笑顔で挨拶してくれた。危険動物遭遇訓練をしていただき感謝です(笑)



岩峰の山が近づきテンションが上がる

森林限界に出ると地面は花崗岩の白砂に変わり正面にオベリスクが見えた。青空と白砂の素晴らしい景色だ。更に上るとピンクのタカネビランジ、振り返ると白砂の庭園のような景色、左上には観音が岳・・・写真撮りまくりだった。

地蔵ヶ岳に到着、お地蔵様に手を合わせて、地図の終点となるりオベリスクに向かった。

山頂が見えた!

山頂に到着　地蔵岳　2764m

オベリスクに上る

タカネビランジ

ホウオウシャジン

地図に書かれたオベリスクの頂上は下から見えず、更にルートの印も無いので GPS でで方向をチェックしながら上った。途中で下りて来た人が石碑があると教えてくれた。「鳳凰山天照皇太御神 鎮座」と書かれた石碑に到着、厳かな雰囲気に手を合わせる。下を見ると雲がすぐ近くまで迫っていた。早出早着で青空の山頂を見れて良かった。

雲が迫ってきた

石碑に手を合せる（上の岩がオベリスクの天辺）

嬉しいスナップ写真

地蔵ヶ岳からは、ガスで白くなりだした稜線を 1km ほど歩いて樹林帯に下りた。歩行中の僅かな時間 雲をまとった雄々しい北岳バットレスが姿を現わした。お気に入りの写真が撮れた。樹林帯への分岐に到着したときは周囲は白い世界になっていた。下山するには丁度良いタイミング、ピストンなので、下山は立ち止まる回数も少なく登山口まで直行した。慌ただしい日帰りではあったが、充実した一日を過ごす事ができた。

赤抜沢ノ頭を過ぎた稜線にて　　雲から姿を表した北岳

岩峰を彩る花

花崗岩の白砂

下山中に撮影した写真より

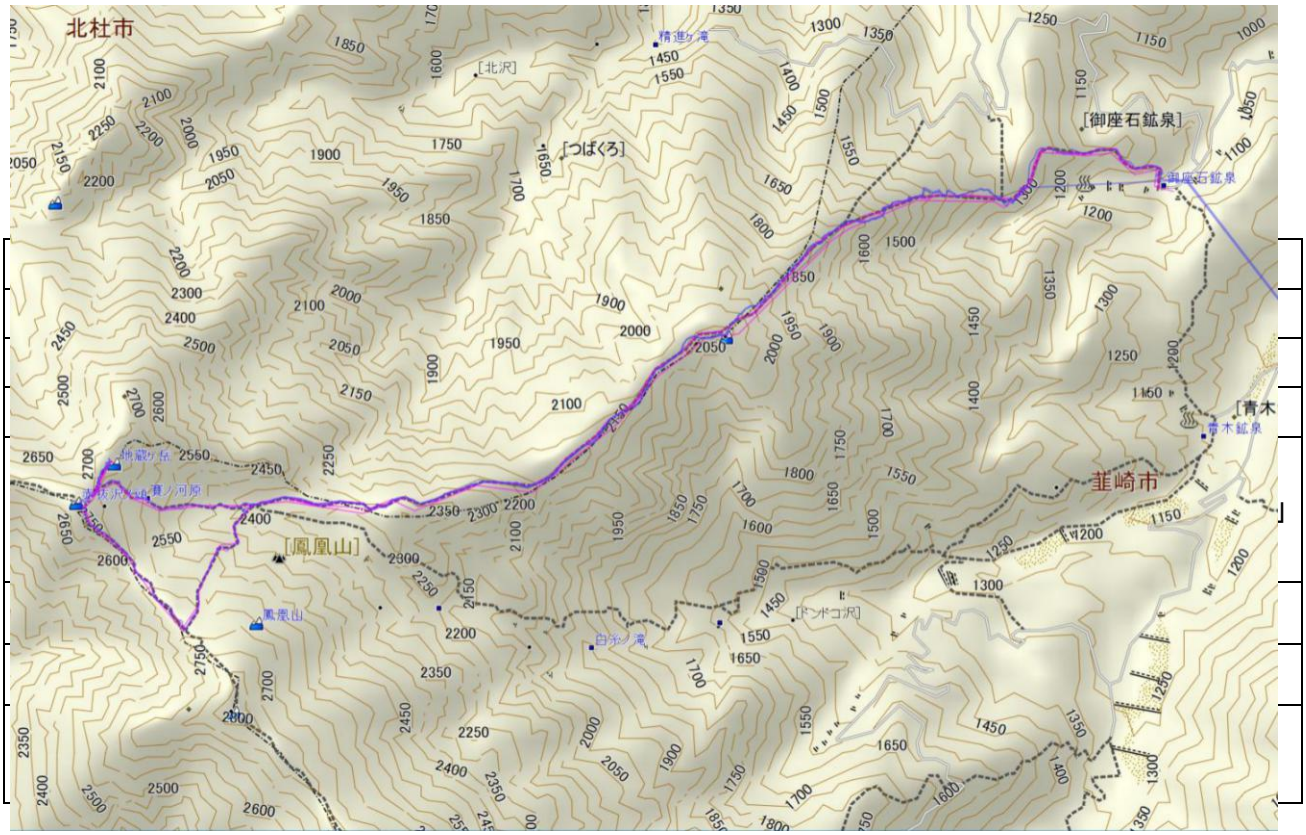
絶景は心眼で　北アルプス展望地

山頂は白い雲の中　八ヶ岳連峰

笹原の緑がきれい　燕頭山山頂(2105m)

今日も無事に下山　登山者駐車場

参考　ルート地図



| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・伊藤　　写真・後藤、北村 |
|---|---|
| 山行番. | NO.2033 |
| 日　時 | 2023 年 09 月 02 日（土）晴れ・暑い |
| 山　域 | 西丹沢・上の権現山（権現山、1138m）北東尾根 |
| コース | 長泉 6:00-西丹沢ビジターセンター8:06-西沢-権現岳北尾根（杣道）8:55-北のコル 10:00-上の権現山 10:30～11:24-北東尾根-西沢-ビジターセンター12:59-「ぶなの湯」-丹沢湖畔-長泉 17:00（反省会） |
| 標高差 | 上・下り　ビジターセンター約 550m～上の権現山 1138m＝約 588m |
| 難易度 | 非常に困難　　困難　　**レやや困難（北東尾根）**　　普通　　やや易しい　　易しい |
| **バリエーション地図読みとタマゴダケ** | |
| 参加者 | 後藤、伊藤、山田敬、北村、松永＝5 名 |

長泉を朝 6:00 出発。旧 246 号を北に向かい、神奈川県の中川温泉入り口を左折しました。トイレ休憩した「道の駅」の頭上に新東名の空中工事現場があり、「人間って凄いな」と思わずにいられませんでした。

丹沢湖の大橋を渡って行くと、集中豪雨の土砂災害から村人を助けたという、樹齢 2000 年の「箒杉」を正面に見て、「わぁ！！凄い」と、昨日のＴＶ番組を思い出し、立派な雄姿を確認しました。

そして、西丹沢自然教室（ビジターセンター）の駐車場に着きました。

ビジターセンター

吊り橋

今回の山行は、「ハイキングリーダー養成」と「バリエーション地図読み」の目的で、それはここから始まりました。

自然教室を横切ると、すぐ大きな吊り橋があり、渡って河原に出ました。さて、キョロキョロしましたが、道がありません。

左手の見にくい所に堰堤を上るための階段があり、上の河原に行くという道でした。沢の水はとても綺麗でしたが、流れが手作り木の橋がある所は助かったけど、石を飛び渡ら

撮影・北村

なければいけない所は大変です。私はストックを持っていたので良かったけど、たまたま、そこで会った女性三人の滝見学（下棚・しもんたな）は、大変そうでした。「どうしたかな？」と少し心配でした。

前進し二つ目の堰堤や木の橋を十本位渡った時、やっと山への分岐に着きました。沢を渡る緊張と暑さで、喉はカラカラでした。

杣道（そまみち）

やっと、ここから左手の山への登山開始です。比較的緩やかだったり、急だったりして、歩いていたら、「タマゴダケ！」という声に「え！もう？」と半信半疑で「ハアハア」していたら、また、「あった！」という声。

ありました。あったけど、何と綺麗というか、毒々しいというか、まるで、「道しるべ」

**タマゴダケ**

のようなハッキリとした、「タマゴダケ」でした。それをそっと丁寧に採取した。ここから、いい感じの尾根をしばらく上ると「北のコル」と呼ばれる場所がありました。

地図上でここはどの位置か？標高はどのくらいか？と聞かれ、恐る恐る口に出してみました。何とか合っていましたが、まだまだ、勉強が足りません。

そこから、少し畦ヶ丸方面に戻り、山肌を見ると木々が赤茶けていました。これは「ナラ枯れ」と呼ばれ、「カシノナガキクイムシ」に起因する木の病気だそうです。

https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/ringyose/seikbyotyu/documents/ibarakikennonaragarenituite.pdf

（板村）

コルから急な山道を上ります。途中でＹさんが、今回一番の「タマゴダケ」を探しました。これはとても美味しそうでした。丁寧に大事に採取しました。

急に平坦になり、山頂に着きました。南西に展望が開け、眼下に丹沢湖とそれに注ぐ川と、通って来た道路が良く見え感動しました。中ほどには、大野山の草地の平らな山頂の緑が綺麗でした。

左・箱根連山、右・愛鷹連峰（北村）

少し早い 10:30 でしたが、昼食となりました。すると 40 歳位の男性が一人で上って来て、

「初めて来た、いい所ですね」と言葉を交わした。
　私たちの後方で、休んでいるようでした。下山しようとしたら、その方も立ち上がり、

**山頂**

元の道を帰るかなと思ったら、私達が行こうとする同じ方向に行きました。一人で来るくらいだから、大丈夫なんでしょうね。
　私たち女性は、借りたヘルメットを被り、リュックも軽くなり、時間も早いのでルンルン気分で歩いていたら、バリエーションの分岐に来た。

**北東尾根上部**

いくつかの尾根があり、どの尾根を下ったらいいのか？一つ間違えると思った所に出ないという怖さがあります。

右往左往していると、リーダーが、「そっと」教えてくれました。細い木に古いテープが巻いてありました。「良かった。地図読みが出来ないと、本当に一人ではダメだ」と思いました。

尾根は急でガンガン下りと、なかなか大変だった。足元がヨロヨロしかかった所に、またもタマゴダケがポコンと出ていました。思わず手に取りました。見回すと幾つか出ていました。

途中に、大きな「ガレ」がありました。Kさんが地図を見て、「ガレのマーク」があると、教えてくれました。地図に出ているように、大きな「ガレ」でした。地図は、様々な記号が使われ、形を表していると学びました。

**大きなガレ**

引き続きガンガン降りて、小沢を渡ったら、突然、西沢に出ました。先に今朝の堰堤と吊り橋があり、「えっ！」という感じで、ビジターセンターに到着しました。

「ぶなの湯」で汗を流し、外に出て下の方で声がするので見たら、川遊びの子供たちが、ワンサカいました。

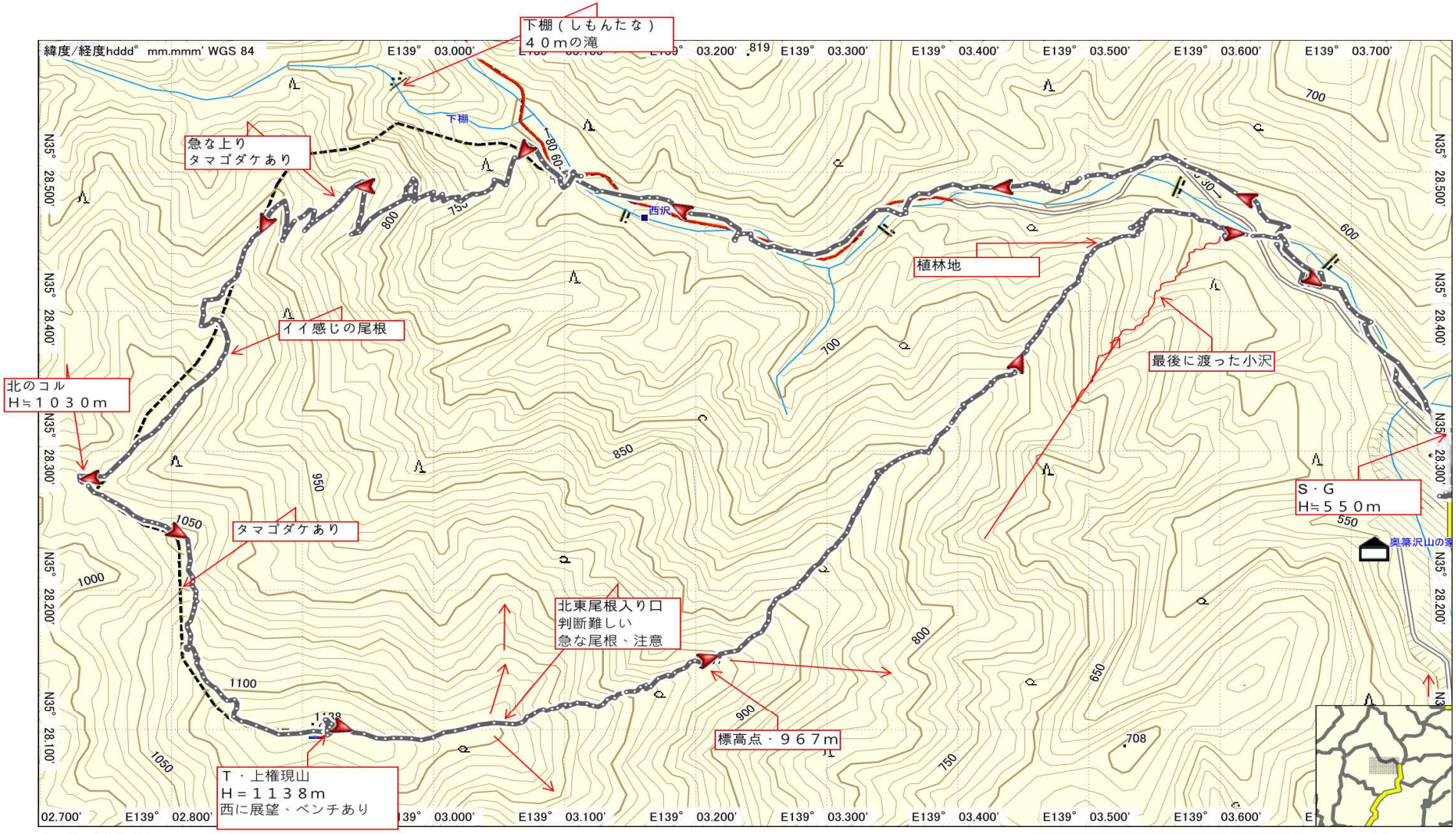
丹沢湖に下る前、左に折れると駐車場の様な広い場所で「直会」です。リーターの農園

の美味しい野菜と現地調達の「タマゴダケ」をフライパンで炒めました。「美味しかった」長泉に 17:00 頃、無事到着。皆さま、有難う御座いました。

美味しいタマゴダケ

山頂

（北村）




Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2023/09/03 6:12:02

写真報告　　2023/09/09　　西丹沢・第二回タマゴダケ　後藤、加藤

タマゴダケ

味噌汁が美味しい

長靴が案外、良かった

写真報告　2023/09/16　青スズ台（1237m）後藤・伊藤・勝又・合谷・山田敬・山田由・松永

八丁池

青スズ

| | |
|---|---|
| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・北村　写真・北村、友人 |
| 山行番. | 個人山行 |
| 日　時 | 2023 年 09 月 16 日（土）～09 月 18 日(月) |
| 山　域 | 穂高連峰・奥穂高岳（3190m） |
| コース | 9/16(土) 河童橋(5:17)- 岳沢小屋テント場(7:17)<br>9/17(日) 岳沢小屋テント場(3:00)- 天狗のコル(6:00)-ジャンダルム 3163m (8:29)--奥穂高岳 3190m(10:50)- 紀美子平(13:33)-前穂高岳山頂手前 2970m(14:30)-岳沢小屋(17:14)<br>9/18(月) 岳沢小屋テント場(6:31)-河童橋(8:19)-長泉町帰宅(19:50) |
| 標高差 | 上り　2697m　下り 2697m |
| 難易度 | 非常に困難　レ困難　やや困難　普通　やや易しい　易しい |
| **岩峰満喫・憧れのジャンダルム** | |
| 参加者　北村(他一名) | |

7 月下旬、秋に一緒にジャンダルムに行かないか？と友人から誘いがあった。自分の技量では厳しい…一旦返事を保留したが、チャレンジしたい気持ち、元気で身心共に山に行きたがっている今がチャンスと、友人に「行きたい」と返事をした。準備期間は 1 ヵ月半弱、体力作りと健康に気をつけ、登山者の記録等で勉強しながら当日に備えた。

台風による延期が 1 回入り、実施は 9 /16-18 の三連休となった、山小屋の再予約は難しいため、テント泊に変更。岳沢に前泊して、天狗沢～ジャンダルム～奥穂高岳～前穂高岳を 1 日で周回する計画とした。岳沢までは、20km の重いザックを運ぶことになったが、テント場から日帰り装備で周回できるため行動しやすくなった。

初日はテント設営後、稜線との合流点となる天狗沢(地図では破線ルート)の下見をした。8 月に道迷い遭難があった場所、なぜ間違えたのか自分達なりに検証しながら天狗沢の中間点まで歩いた。翌日は日の出前の暗い時間に出発したが不安なく歩けた。

下見中に 3 組の登山者に会って立ち話をした。2 組は自分達と同様、翌日のための下見とのことで、明日晴れる事と、お互いの登頂を祈り合った。

9/16(土) 早朝の上高地バスターミナル

歩きを楽しみながら岳沢へ

岳沢小屋テント場　人口密度高かった

天狗沢のルートを下見（赤線がおよそのルート）

初日の夜は夕飯のみ山小屋で予約できた。カレーバイキングが美味しく２回お代わりした。食事中に強い雨が降り出し翌日の天気が気になったが、1 時間程で雨は止んだ。
寝不足もあってテントに戻るとすぐに眠くなった。早朝出発となるので、ザックの準備をすべて済ませてシュラフに潜り込む。午前中の快晴予報に期待して目をつぶったら、いつものように直ぐに寝落ちした（19:00 就寝-2:00 起床　7 時間睡眠）。
夜中に激しい雨がテントを打ち付け、半眠状態で山行不可が頭をよぎった。
am2:00 バイブのアラームで目覚める。静かにテントを開いて外を見たら満点の星空が広がっていた。最高の天気になる予感。岳沢小屋でトイレを済ませて 3 時に登山開始した。
少し高度を上げたところで仲間に体調不良（高山病）が発生、山行中止も視野に様子見していたら、高度順応したのか元気になり登山を再会できた。星空はマジックアワーに変わり朝焼けに。8 月に登った南アルプスのシルエットが印象的だった。

9/17（日）テント場にて夜明け前の星空

天狗沢にて朝焼け

ペースはゆっくり目に押さえながらも順調に天狗沢を上り、草木のない場所に到達した。上方はガレていると認識していたが、想像を超える浮石状態で、登っている最中にも下の方で雷のような落石が２回あった。人の姿も見えたので「ラーク」と叫んだ。
浮石を刺激しないよう細心の注意を払いながら一歩ずつ慎重に歩いた。天狗沢上部の急登のガレ場は、今回の山行全体を通して最も緊張する場所だった。

天狗沢上部のガレ場

稜線（天狗のコル）まであと少し！

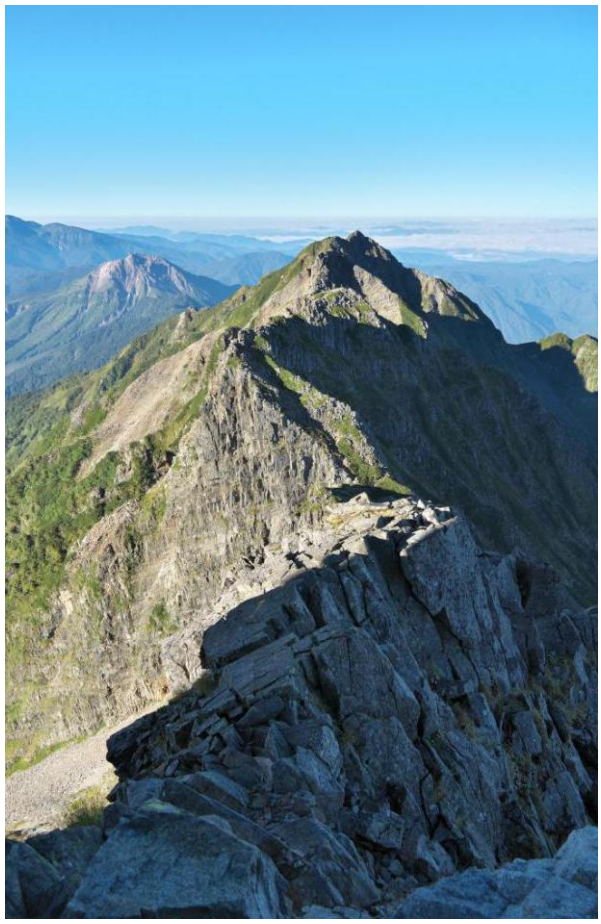
休憩含め 3 時間かけて稜線（天狗のコル）に到着した。快晴の空の下、苦労が報われる絶景が待っていた。西穂からの迫力の稜線、遠くは富士山、南アルプス、白山、乗鞍、御嶽山。仲間もすっかり元気になり、この先で見える景色に期待が膨らんだ。

一つ気になったのは天狗のコルの小さな平坦地に設営されていた無人のテント。遭難者がビバークしたテントかもしれない。絶景に魅せられてミスをしないように改めて気を引き締めて先に進んだ。

時間が早いせいか、人が少なく静かだったが、耳もとにブンブン付きまとう虫が不快だった。

雲海の先に富士山と南アルプス

朝霧の上高地と焼岳～乗鞍～御嶽山



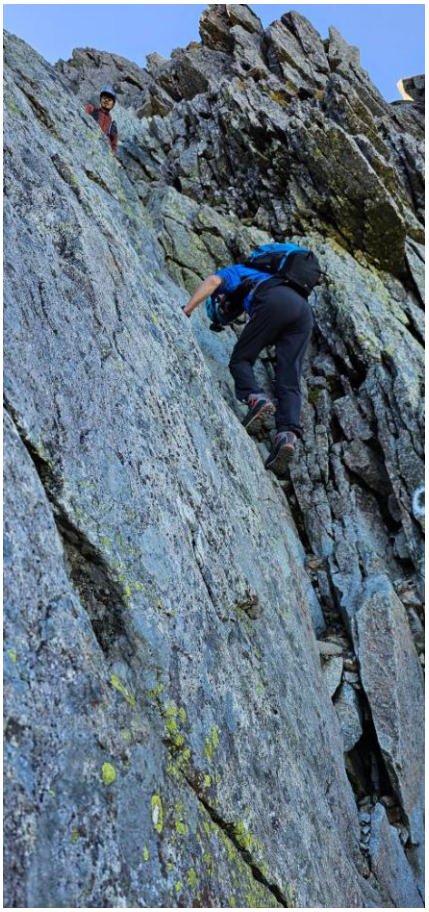
西穂高岳から続く岩峰

絶景を見ながらの稜線歩き、岩登りは最高に楽しく、緊張感を保ちながら一歩ずつ確実に進むことも心地良かった。体感で 4～5m程度有った風はいつしか弱まっていた。前日も翌日も午前中から雲がかかっていた西穂高岳～奥穂高岳の稜線。完璧な天気の日に憧れのジャンダルムに上れて本当にラッキーだった。

7 時を過ぎたころから徐々に登山者が多くなり。すれ違い待ちが多くなってきたが、譲り合って気持ち良い挨拶を交わしながらすれ違う事ができた。
三連休なので渋滞はやむなしだが、岩の下りで足の置き場が分からず、短い距離にかなりの時間を要している人がいた。大丈夫だと言われて連れて来られたのだろうか？
もう少しスキルを上げてからこないと本人は楽しくないのでは？？と心の中で思った。

景色を見ながら一休み

雲に浮かぶ八ヶ岳連峰



慎重に一歩ずつ

槍ヶ岳が見えてきた

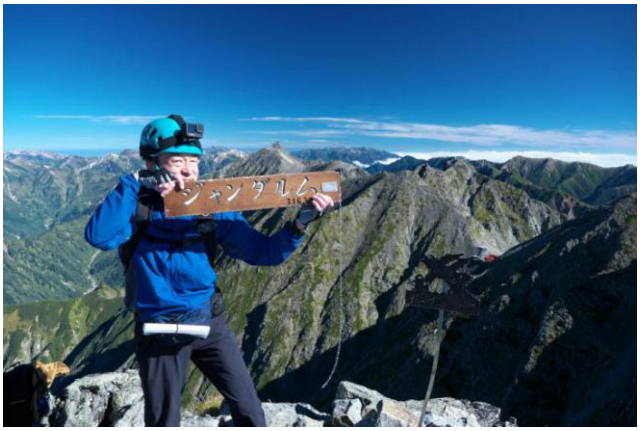
譲り合って

ジャンダルムは目前

譲り合って

ついにジャンダルムに登頂、自分の足でたどり着いた気分は格別だった。山頂にいる登山者も皆ご機嫌で和やか。同年代くらいの男性のスナップ写真を撮ったとき、カメラに向けた満面の笑顔は、本当に嬉しそうで印象に残った。

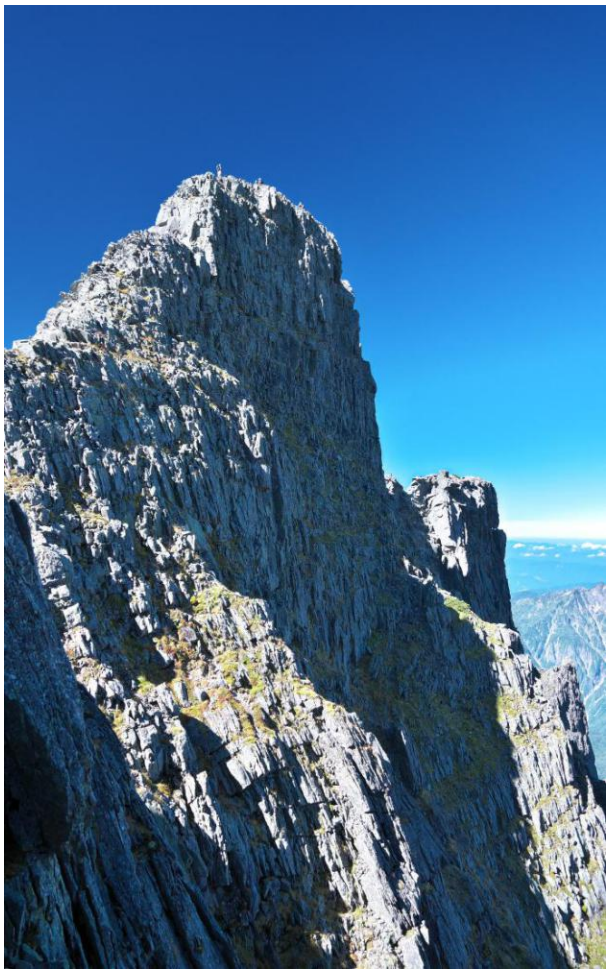
ジャンダルムと奥穂高岳の間に「ウマノセ」と呼ばれているナイフリッジの難所があったが、今回は上りだった事もあり無難に通過できた。今思えば、「ウマノセ」だけ往復トライすれば良かったと後悔している。



ジャンダルム 3160m登頂です

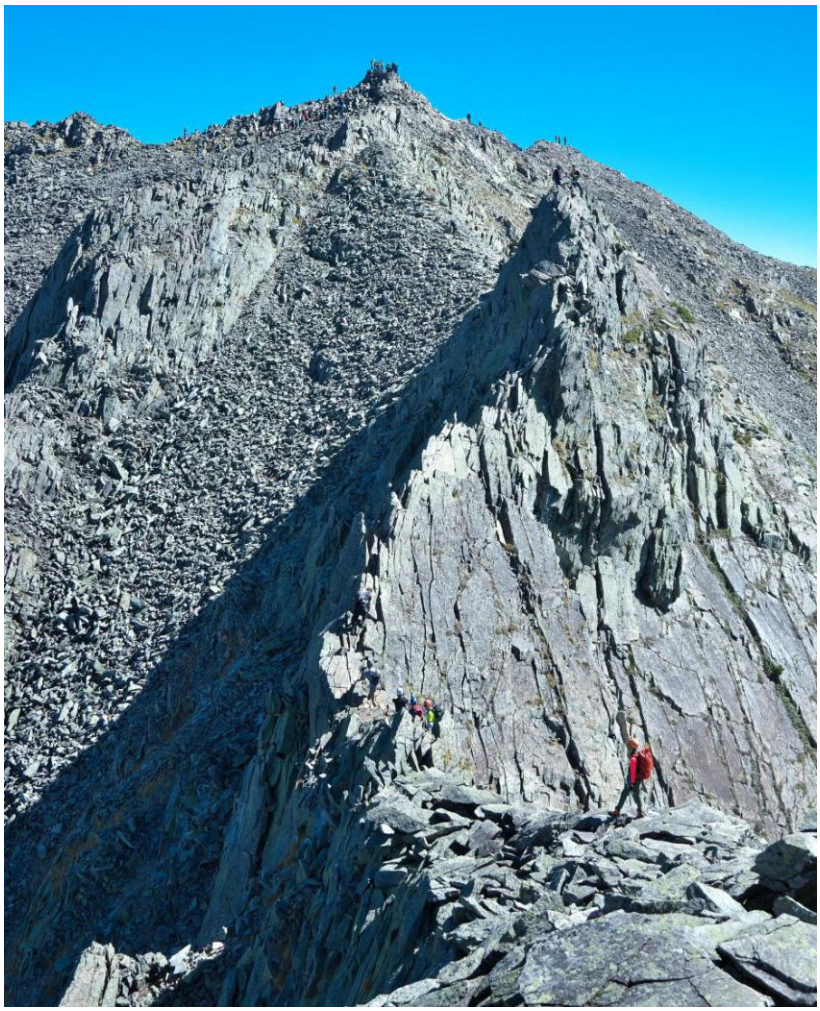
ジャンダルムからの景色

奥穂への登山道　崖を横ぎるように進む場所



圧倒的な迫力のジャンダルム

ガスが湧いてきたが
　この雰囲気もまた良い



難所「ウマノセ」

上のピークは奥穂高岳山頂
写真撮影に長蛇の列
ザックリ 40～50 人並んでいた

奥穂高岳で長めに休憩して前穂高岳に進んだ。10 時頃から増えだした雲で眺望は今一つとなったが、前穂高岳に続く稜線の迫力、涸沢カールの広大な緑は見応えがあった。

前穂高岳山頂まで標高で 120mのところで下りてきた山岳救助隊の方に声を掛けられた。遭難が急増しており、特に今日は 4 件の救助が発生した。時間が遅いので下山してほしいとの事。あと僅かだったので残念だったが指示に従い山した。作成した登山計画から約一時間工程が遅れていた。多少遅れてもヘッデンもツエルトも装備している・・・では無く、常に頭の中で状況を把握・整理してより安全な行動をせねばと反省している。

吊り尾根

涸沢カールを見下ろす

9/18(月)最終日は am6:30 時に岳沢を出発。早朝は快晴だったが、上高地に到着した 8:30 には雲が多い空になっていた。本当に天気に恵まれた 3 日間だった。

スリリングな岩歩きの面白さを知った山行になった。スキルを上げて他の山にもチャレンジいきたい。

岳沢小屋から上高地の朝霧

下山中　穂高連峰を見上げる

登山ルート概要

| 長泉麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真　後藤 |
|---|---|
| 山行番. | NO.2036 |
| 日　時 | 2023 年 09 月 23 日（土）曇・涼しい |
| 山　域 | 奥秩父・金峰山（2599m）表参道 |
| コース | 大弛峠（車）-アコウ平 5:46-荒川渉河 6:09-旧御室小屋跡 6:48-鶏冠岩 7:04-片手廻し岩 7:36-五丈岩 9:08～金峰山 9:14～35-鉄山-朝日山-大弛峠 11:50-はやぶさ温泉-長泉 18:00-反省会 |
| 標高差 | 上り　荒川約１７９０ｍ～金峰山＝約８０９ｍ＋30m＋110m |
| 難易度 | 非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい |
| **金峰山から大弛峠まで長いね** | |
| 参加者 | 後藤、加藤、北村＝3 名 |

早朝、大弛峠駐車場で、夜駆けつけた北村と合流。駐車場で早朝の青空朝食をいただく。トイレを済ませ、北村車でアコウ平に下る。登山者と思ったら、女性一人を含む、釣人四名いた。今夜、荒川で宿泊をするといった。

天気は晴れていないが、雨は降っていなかった。荒川渡渉点に下る。途中、古の軌道跡がある。荒川は前夜の雨で水流は速かった。ここは２０１４年来だが、当時は丸木橋があった。現在はロープのみ渡されていた。

恐怖の丸木渡り（北村）　　2014/11/23 撮影

少し下に丸太が川に渡されていた。加藤は、「中国雑技団」よろしく、巧みに膝を使って渡り切った。それに北村が続いた。私は、とてもあんな芸当（まね）は出来ない。飛び石伝いに渡った。

荒川から、御室川沿いを進む。ネズコと呼ばれる（黒檜）の暗い森が続く。先に旧御室小屋跡がある。ここは、かつて金峰山南面の登山道。信仰登山で盛んに上られていた。

昇仙峡の黒平集落から、黒平～水晶峠～御室小屋を辿る。かつて、深田久弥も百名山登山の際、ここから上った。

今回私たちが上ったコースは、いわば表参道全コースの上部四分の一程度のインチキコース。 従っていつか時間・気持ち・体力があったら、是非、黒平から上るべきであろう。

旧御室小屋跡

14 年はまだ建屋があった

鶏冠岩

小屋裏から本格的な上りが始まる。鶏冠岩は濡れて滑り易かった。クサリにしがみつき上る。途中に「片手廻し岩」があった。巨石が岩の上にチョコンと載っている。少々の地震では落ちそうもない。ここで小休止。

上は、更に急登が続く。遠くに「五丈岩」確認できた。加藤が「こんなイイ所、皆どう

して来ないんだろうね」と、何回も何回もグチる。私はケガ以来、バランスが悪く、特に岩場の下りは神経を使う。集中時、同じことを何回も聞かされ、五月蠅く感じたので、「ちょっと、静かにしてくれ」とお願いした。

2014/11/23 撮影

尾根のブッシュは次第に減少し、イイ感じの展望が広がる・・・ハズだったが生憎、ガスが漂い、素晴らしい景観は味わえなかった。特にここからの五丈岩は素晴らしい。加藤、私は既に経験していたが、北村は今回が初見だった。

加藤がガスを何とか「払拭させたい」と、伊豆巡礼で学んだ、あまり上手くない、「お経」を唱え始めた。そうしたら、あら不思議、ガスが薄れ、五丈岩の上に青空が広がり始めたではないか！！何という奇跡！！（がはは）

ガンガン上り、五丈岩に着いた。まだ９時ちょっとだった。掛かった時間は、前回が２時間４８分、今回は、２時間５９分。前回から、９年の歳月が流れた。今回は、荷物を殆ど加藤に持って貰った。それでも苦しい山だった。

現在は登攀を禁止している、五丈岩をパスして広場で軽食。いただいた、日本茶が美味しかった。近くにいた若い衆に写真を撮って貰った。話をしたら、若いが、「表参道」を上ったことがあるといった。

山頂に立った。新しい標柱があった。「こうふ開府 500 年記念事業」で 2019 年に建てたらしい。標柱には、同時に「甲府名山」のロゴも入っていた。山梨県は過去、「山梨百名山」の標柱で物議を醸した。今回は、他県と複合する山があるかどうか不明だが、その辺りは慎重に進めるべきであろう。

大きな大きな五丈岩

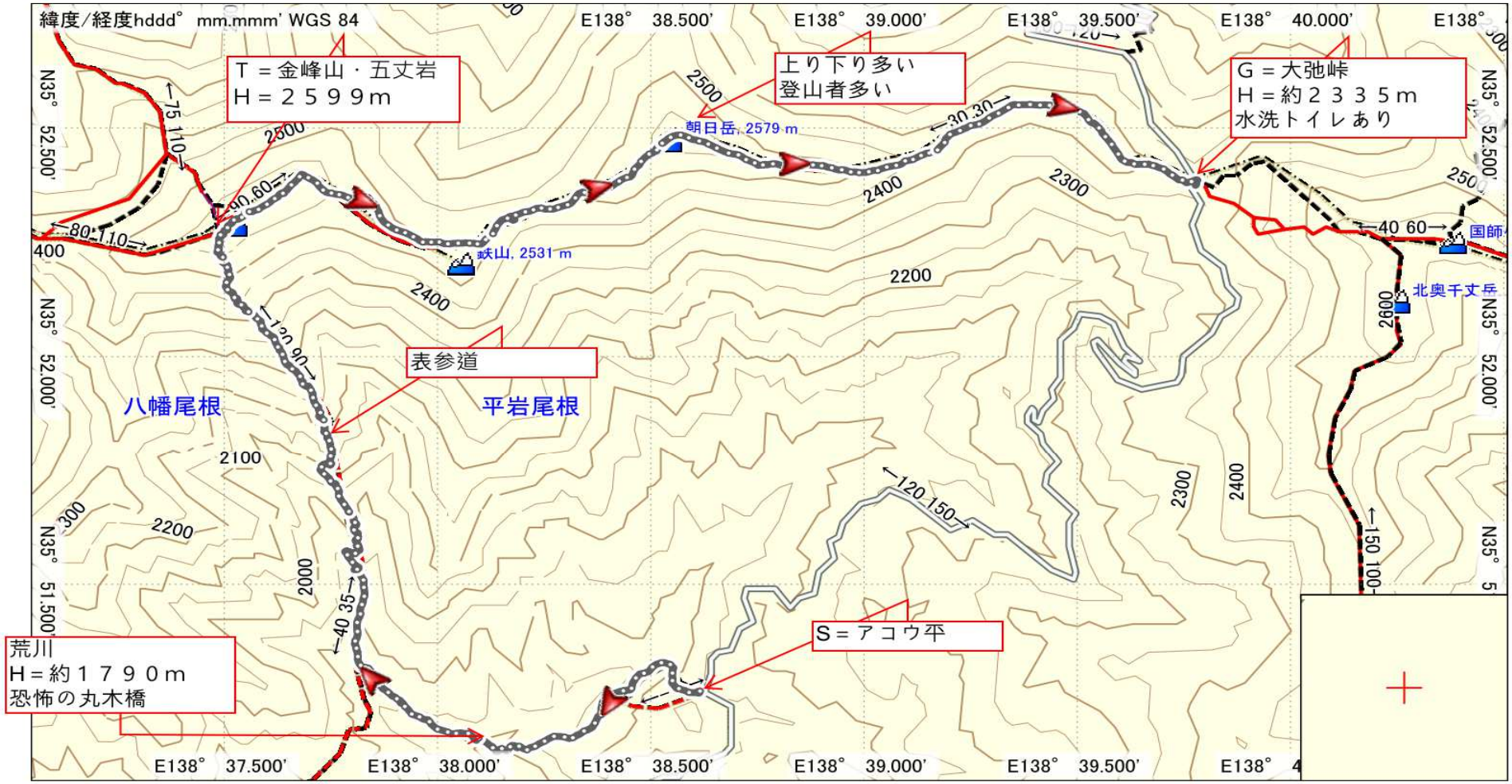
よいこらしょ

こうふ開府５００年

山頂から大弛峠まで 2 時間は長い。多くの登山者が来る。昨日、峠で交流した夫婦も上って来た。先頭が懐かしいラガーシャツを着た 15 名と交流。仙台の大学の同窓会登山という。今夜は塩山に泊まり、明日は瑞牆山といった。

私より 10 歳若い人たちだった。今夜は放歌高吟で大いにやるだろう。何も無い私は、羨ましいと思った。

大弛峠で軽くやって、「はやぶさ温泉」で入浴。ここの温泉は、サッパリしていて、本当に気持ち良い泉質。前回、「馬刺し」が美味かったが、今回はイマイチだった。




Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

0 m 350 m 700 m 1050 m 1400 m

MN TN
-7.1°
2010/01/01

2023/09/24 6:26:18

GARMIN.

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
2023/09/25
第 29 期・7 巻　　2023/10 月号　　NO.266
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075
HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

09/23　金峰山・表参道（加藤）

表参道・コケモモ（北村）